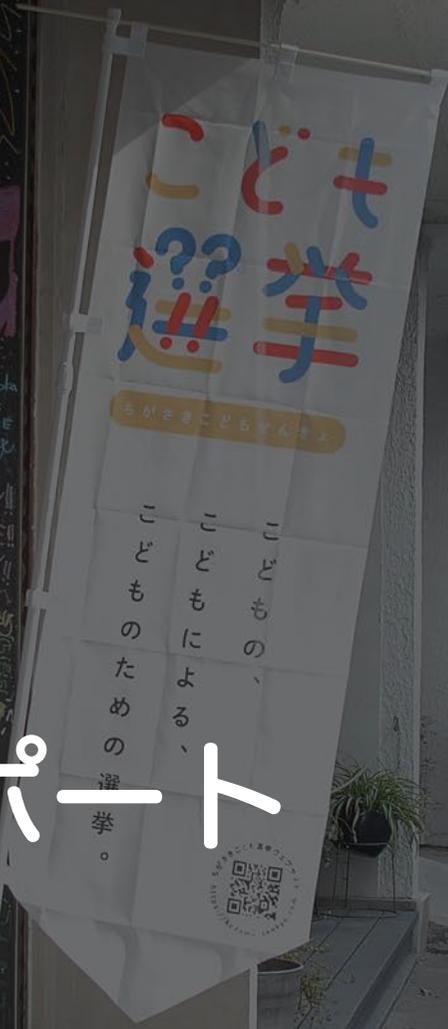




実施レポート

2022.12.07

ちがさきこども選挙実行委員会



こどもが市長を選ぶとしたら、どんな視点で選ぶのだろう。

こどもが候補者にインタビューするとしたら、どんなことを聞くのだろう。

こどもは自分が選んだ候補者に、どんな想いを届けるのだろう。

こどもが聞いて、選んで、届ける。

2022年10月30日 茅ヶ崎市長選挙と同時に、「ちがさきこども選挙」を開催します。

茅ヶ崎在住のすべてのこどもたち（小学生～17才）に投票権があります。

こどもたちが自分のまちの未来を考える「こども選挙」はじまります。

ミッション

本当の選挙と同時開催の模擬選挙を通じて、
こどもたちへ「リアルな学び」と
「市政への参加機会」を提供する。

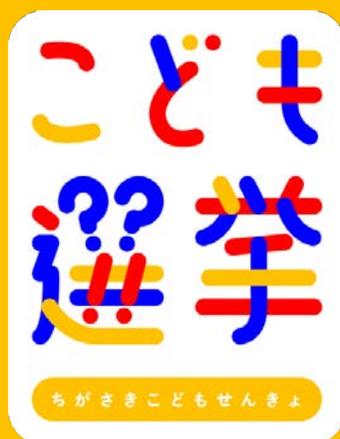
主催

ちがさき

こども選挙

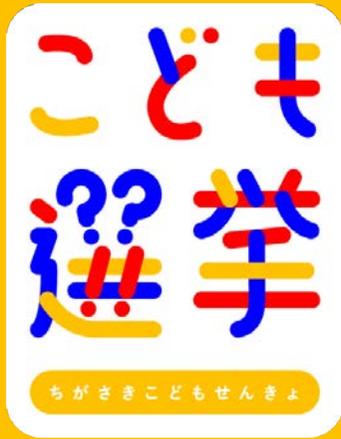
実行委員会

- 宮崎 一徳 (博士(公共政策学)／日本シティズンシップ教育フォーラム会員)
- 望月 信史 (茅ヶ崎青年会議所 理事長／C.C.C THEATER)
- 三井 篤 (茅ヶ崎青年会議所 副理事長)
- 渡部 健 (NPO法人湘南スタイル 代表理事)
- 山口 順平 (NPO法人湘南スタイル)
- 内波 義雄 (株式会社ドッグフィールド／湘南フードトラック協会 代表)
- 市川 靖洋 (株式会社ボンド 代表)
- 市川 歩 (株式会社ボンド)
- 池田 一彦 (Cの辺り／株式会社be 代表)
- 池田 美砂子 (Cの辺り／株式会社be)



実施レポート 目次

- 実施内容
- メディア掲載
- 市民と社会の声
- リスクマネジメント
- 成果と課題



実施内容

プログラム

ワークショップ&勉強会

9月3日(土) 10:00~12:00 @Cの辺り

民主主義や選挙についての勉強会と、茅ヶ崎についてのワークショップを行います。

市民活動家に茅ヶ崎の話を聞こう

9月18日(日) 13:30~16:00 @Cの辺り

茅ヶ崎の市民活動家の方を招いて茅ヶ崎の今をスタディします。

候補者インタビューを考えよう

10月2日(日) 13:30~15:30 @Cの辺り

候補者に質問したいことを考えて、ビデオインタビューを収録します。

候補者からの回答ビデオを見よう

10月23日(火) 13:30~15:00 @Cの辺り

候補者からの回答ビデオを見て、気づきをメモしながら投票を考えます。

選挙で投票&運営しよう

10月30日(日) 終日 @Cの辺り

市長選の投票や、こども選挙投票所の受け付けなど、選挙運営のお手伝いをします。

みんなで集計しよう

10月31日(月) 15:30~ @Cの辺り

集まった票の集計作業を行います。

こどもの声を候補者に届けよう

11月中旬 @各候補者訪問先

選挙結果とこどもの声をまとめて、各候補者に届けます。

~8.21

こども選挙委員募集

ホームページ、及びタウンニュースでの案内を通じて、茅ヶ崎市内の小学生～高校生のこどもたちから公募し、15人のこども選挙委員が決定。

こども選挙委員会 メンバー募集

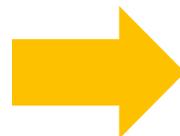
応募資格 茅ヶ崎市在住の小学3年生～高校生（17歳以下）
すべてのプログラムに出来るだけ参加可能な方
※ワークショップの会場は主に「Cの辺り」を予定しています。

定員 10～15名程度

受付期間 8月21日（日）締め切り ※受付終了しました

※応募者多数の場合は、状況を見ながら抽選方法を検討させていただきます。当選はご連絡をもって代えさせていただきます。

🏠 学校関係者様へ



18人の応募

プログラムへの参加可能日程の多い方から

15人に決定

小学3年生～6年生

男1人・女14人

8.31

保護者説明会

こども選挙委員15名の保護者全員に説明会を実施。コンセプト、プログラムの説明に加え、公職選挙法に違反しないよう「こどもの選挙運動禁止」「人気投票の事前公表の禁止」を注意喚起。



こどもが市長を選ぶとしたら、どんな視点で選ぶのだろう。
こどもが立候補者にインタビューするとしたら、どんなことを聞くのだろう。
こどもは自分が選んだ候補者に、どんな想いを届けるのだろう。

こどもが聞いて、こどもが選んで、こどもが届ける。

2022年10月30日 茅ヶ崎市長選挙と同時に「ちがさきこども選挙」を開催します。
茅ヶ崎在住のすべてのこどもたち（小学生～17才）に投票権があります。
こどもたちが自分のまちの未来を考える「こども選挙」はじまります。

低下し続ける投票率。特に若者。



保護者のみなさまへのお願い

①こどもの選挙運動への参加の禁止

17歳以下のこどもが特定の候補者や団体を応援する選挙運動に参加することは禁止されています。「こども選挙」では、この点について十分に配慮しながら進めます。候補者へのインタビューはこどもが行いますが、その情報発信は大人である実行委員会が行い、内容も公平性を担保するよう努めていきます。

こども自身が特定の候補者についての情報発信をしないよう
保護者の皆様にも十分にご理解いただると助かります。

こども選挙委員会 全体プログラム

ワークショップも勉強会

9月3日(土) 10:00～12:00 @Cの辺り

民主主義や選挙についての勉強会と、茅ヶ崎についてのワークショップを行います。

市民活動家に茅ヶ崎の話を聞こう

9月18日(日) 13:30～16:00 @Cの辺り

茅ヶ崎の市民活動家の方を囲って茅ヶ崎の今をスタディします。

候補者インタビューを考えよう

10月2日(日) 13:30～15:30 @Cの辺り

候補者に質問したいことを考えて、ビデオインタビューを収録します。

市議会で政治に触れよう

10月11日(火) 10:00～12:00 @茅ヶ崎市議会

民主主義や選挙についての勉強会と、茅ヶ崎についてのワークショップを行います。

選挙で投票 & 運営しよう

10月30日(日) 終日 @Cの辺り

市長選の投票や、こども選挙投票所の受付など、選挙運営のお手伝いをします。

みんなで集計しよう

10月31日(月) 15:30～ @Cの辺り

集まった票の集計作業を行います。

こどもの声を候補者に届けよう

11月中旬 @各候補者訪問先

選挙結果とこどもの声をまとめて、各候補者に届けます。

6月15日 「こども基本法」成立

こども基本法

(基本理念)

第三条 こども施策は、次に掲げる事項を基本理念として行われなければならない。

(略)

三 全てのこどもについて、その年齢及び発達に応じた、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会が確保されること。

四 全てのこどもについて、その年齢及び発達に応じた、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮されること。

(略)

保護者のみなさまへのお願い

②人気投票の事前公表の禁止

模擬選挙の結果を実際の選挙の投票前に公表することは、
実際の選挙の投票行動に影響を与えかねないので、禁止されている。

9.3

ワークショップ&民主主義の勉強会

茅ヶ崎の「好きなところ」「残念なところ」「その解決策」について子どもたち自身が考え、シェアするワークショップを実施。その後、講師の宮崎氏より民主主義の歴史と内容について講義を行った。

●茅ヶ崎についての意見を出し合う子どもたち



●こどもの意見を一部抜粋

「海であそべる」
「公園がたくさんある」
「歩いていて声をかけると返してくれる」
「お店がいっぱいある」
「このようなイベントがあるところ！」（これにはスタッフ感涙!!）

「海にゴミがいっぱい」
「雨だと公園で遊べない」
「ららぽーとがない」
「校庭に遊具を足したい」
「せまくて危ない道がある」

「雨だと公園で遊べない」→（雨でも遊べる公園を作ればいい）→「公園に屋根みたいなカバーをかける」

「海にゴミがいっぱい」→（面白くないと解決しない）→「ビーチクリーンしてビンゴをする」

「ららぽーとがない」→（作るためにはお金がかかる）→「茅ヶ崎のお店をパエるお店にしていっぱいお客さんが来ればお金が貯まってららぽーとが作れる」

●宮崎氏による民主主義の講義



9.18

市民活動家に茅ヶ崎の話を聞こう

市内の市民活動家を招いて、茅ヶ崎の歴史や今についての講義を行った。BENIRINGOの田中藍奈さんと阿部汐里さん、茅ヶ崎青年会議所の三井篤さん、仏教学者であり「湘南ロックンロールセンターAGAIN」を立ち上げた釈順正さんの3組と共に、茅ヶ崎について学んだ。

● 「海のごみと街のごみ」

BENIRINGOさんによる講義



● 「茅ヶ崎の歴史と今」

三井篤さんによる講義



● 「僕らの存在と茅ヶ崎音楽文化」

釈順正さんによる講義



10.2

候補者インタビューを考えよう

実際の候補者にインタビューする3つの質問を決定するワークショップを実施。質問はすべて子どもたちが考え、合計50を超える質問の中から、こどもたち自身が3つに決定した。どのようなことが分かるみんなが投票をする参考になるのか？自分が希望する茅ヶ崎になるには、どんな質問をすればいいか？という視点を投げかけた。

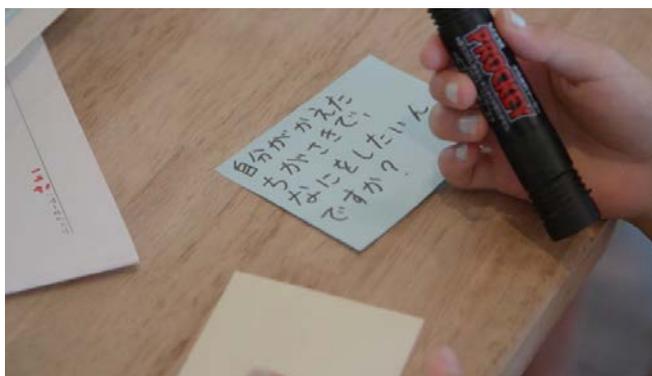
①まずは個人で質問を考えて



③質問を考える2つの視点を投げかけ

- ・どんなことがわかると、みんなが投票をする参考になるのか？
- ・自分が希望する茅ヶ崎になるには、どんな質問をすればいいか？

④もう一度質問を考えてもらい



⑤こどもたちが、3つの質問に決定



②絵本「どうぶつせんきょ」を使っての模擬投票



⑥インタビュービデオを収録

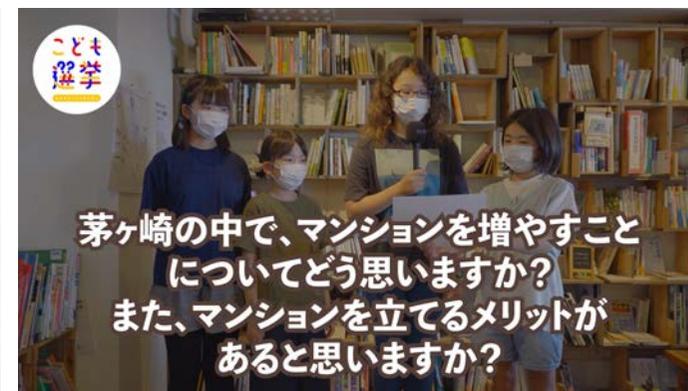
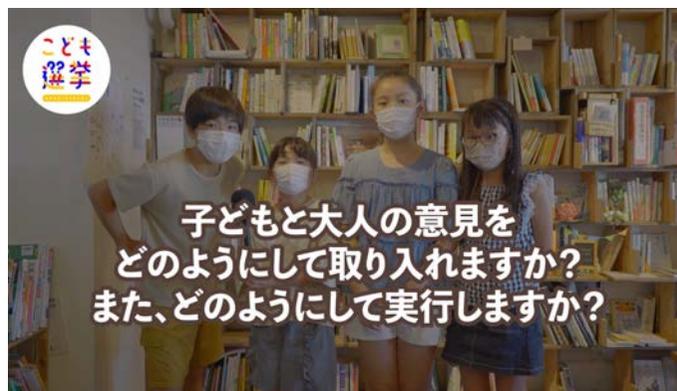


10.2

候補者インタビューを考えよう

実際の候補者にインタビューする3つの質問を決定するワークショップを実施。質問はすべて子どもたちが考え、合計50を超える質問の中から、子どもたち自身が3つに決定した。どのようなことが分かるみんなが投票をする参考になるのか？自分が希望する茅ヶ崎になるには、どんな質問をすればいいか？という視点を投げかけた。

●決定した3つの質問



10.3

投票所の開拓と決定

こども選挙の投票所を構えるため、市内11ヶ所の店舗や施設に協力いただいた。

こども選挙投票所

11ヶ所



10.10~

投票呼びかけポスター&チラシ配布

おとなは「本当の選挙」へ。こどもは「こども選挙」へ。というキャッチコピーで、市内に5000枚のチラシとポスターを配布。こども選挙委員の子どもと保護者、実行委員会、及び賛同してくれたボランティアが、手渡しで店舗や学校、知り合いに配布してくれた。

ポスター・チラシ配布

5000枚



●主な配布先

- 香川小学校
- 鶴嶺小学校
- Cの辺り
- BRANCH茅ヶ崎
- Shonan Dog Field
- Serendipity Café
- 話せるシェア本屋とまり木
- HOTS (TapiTapi)
- 来恩寺
- 醸しmashu
- 香川商店街 (かがワンガーデン内)
- 茅ヶ崎ショッピングセンター
- オーガニック七菜
- パルパル/ハヤシ
- チガラボ
- BinO Cafe Zin
- サポートセンター
- tamaya
- my crown
- アンツ (駄菓子)
- maxvalue
- 加納食堂
- CCCシアター
- リキリキデリ
- たさき
- 濱田屋
- tetoteto
- 道端の喫茶店HAND
- まちスポ
- Trex Ocean village
- バンドカルム
- サザンカンフォート
- ブレッドN
- ちがぼ〜
- 中海岸自治会館
- 学童保育の会
- フレイズ薬局
- ちがさきっず
- その他
こども選挙委員保護者、
ボランティアによる配布

10.23

候補者からの回答ビデオを公表

10月23日の公示後、候補者3名からの回答ビデオを届出順にホームページにアップ。
同日、こども選挙委員会でも「候補者からの回答ビデオを見よう」という会を実施した。
公平性とリスク管理に対応するため、細心の注意を払いながら進めた。

●ホームページに候補者インタビューアップ

候補者インタビュー

こどもの質問に候補者が回答 インタビューを見てみよう！

この動画はこどもたちが模擬投票をする際の参考情報となることを目的としています。

茅ヶ崎市長選の候補者に、こども選挙委員会がこども独自の視点でインタビューしました。



藤村 ゆかり さん



佐藤 光 さん



桂 秀光 さん

●公平性とリスク管理への対応

- ・各候補者に事前に3つの質問を案内
- ・各質問への回答に制限時間（2分以内）
- ・撮影機材の統一（全てiPhone）
- ・ビデオの順番は届出順
- ・各候補者に同意書サイン

同意書

ちがさきこども選挙のインタビューに関して、以下の条件で同意します。

こどもたちが考えた質問を収録してビデオ形式でお見せします。こどもの質問ビデオを流した後に、その質問に対して候補者様自身で回答をお願いします。回答は、その場でビデオ収録をさせていただきます。

質問は3問で、各候補者様とも同じ質問をさせていただきます。

回答頂いたビデオは、こども選挙のホームページに掲載させていただきます。また、回答の内容を記事にしてホームページ及び印刷物で配付させていただきます。候補者様の回答時間や記事のボリュームに偏りがないよう、十分に留意して掲載させていただきます。

公平性を担保するため、ビデオでの回答に一律の制限時間を設けていただき、1問につき基本2分以内とします。制限時間を超えた部分に関しては、回答途中であったとしてもカット（フェードアウト）させていただきます。また、時間内に回答して余った分に関してもカットさせていただきます。

回答収録の繰り返しは、各質問に対して1度だけとさせていただきます。

以上。

氏名 _____ 印 _____

10.26

投票所運営ボランティア 説明会

市内11ヶ所の投票所を運営するにあたり、ボランティアを募集したところ、子どもと大人合わせて58人の方が手を上げてくれた。会場の設置や投票オペレーション含めて複雑な運営が想定されるため、運営マニュアルを作って詳細に説明会を実施。

●投票所運営マニュアル

投票所運営ボランティア

60人

子ども選挙 ちがさき子ども選挙
投票所運営マニュアル

準備物 Cの辺りに書いてありますので、ピッグアップしてください。

<input type="checkbox"/> 投票箱	<input type="checkbox"/> テラシ	<input type="checkbox"/> のぼり
<input type="checkbox"/> 投票用紙	<input type="checkbox"/> えんぴつ	<input type="checkbox"/> ボール・注水スタンド
<input type="checkbox"/> メッセージ用紙	<input type="checkbox"/> 風船	<input type="checkbox"/> QRコード (インタビュー映像へ)
<input type="checkbox"/> 投票証明書	<input type="checkbox"/> 風船のポンプ	

会場設置 投票開始10時まで、会場設置をしてください。

- 投票箱を机の上に置く。
- 記入用の机を用意し、えんぴつを準備。
- 投票用紙、メッセージ用紙、投票証明、QRコードを受付に。
- のぼりを通りの目立つ所に設置。(敷地内)
 - ・ボール上部のキャップごと引き抜くと、ボールの中に横棒が入っているので取り出す。
 - ・横棒をキャップにはめて、のぼりの紐を通して旗上にする。
 - ・ボールを注水スタンドに入れて完成。
- 風船をポンプで膨らまして、風船棒でとめる。

このキャップごと引き抜くと、中に横棒が入ります。

投票の流れ 投票所での投票時間は10時～18時

- 1. 年齢・住所確認** (第1期在住の小学1年生～17歳までが対象です)
「ちがさきにお住まいですか？年齢はいくつですか？」
- 2. 投票用紙を渡す** (メッセージ用紙は希望者に渡す)
「こちらが投票用紙です。投票したい候補者に○をつけてください」
「よかったらこちらに候補者へのメッセージもお書きください」
- 3. 候補者インタビュービデオを案内**
「候補者にインタビューした動画があるので、よかったらQRを読み込んでください」
- 4. 記入後、用紙を投票箱に入れてもらう** (メッセージ用紙も同じ箱に)
- 5. 最後に投票内容を言わないように伝える**
「ありがとうございました。」
誰に投票したかは、本当の選挙が終わるまで誰にも言わないでくださいね」
- 6. 希望の方に投票証明/風船を渡す**
「こちらが投票証明です。結果は本当の選挙の発表の後に、ホームページで発表します」

※受付係り・案内係り・集票係りなど、役割分担して運営していただければと思います。

その他

- 投票を呼びかけるために、投票所の周りでテラシを配布して頂いてもOKです。
- 投票用紙などが足りなくなった場合は、LINEグループなどでご連絡ください。
- ランチは交代で食べて頂くか、当日ご持参頂ければと思います。
- トラブル発生や緊急の場合は、Cの辺り池田までご連絡ください。

池田 一彦 090-7259-5620 / 池田美砂子 090-7238-8980

投票の流れと設置パターン

Aパターン ブランチ/キャップショッピングセンター/Cの辺り

受付 → 記入 → 投票 → 記入 (メッセージ)

Bパターン かかかんマルシェ/兼善寺/tapital/マシュー/オーガニック菓々
セレンディビティカフェ/Shonan Dod Field/とまり木

受付 → 記入 → 投票

このマニュアルは、投票所での投票の流れと、会場設置のパターンについて詳しく説明しています。AパターンとBパターンの違いや、各ステップでの具体的な作業内容、注意点などが記載されています。

10.26

投票所運営準備物

投票用紙は記号式を採用。小学低学年も対象のため記入しやすい形式をとった。それとは別に候補者へのメッセージ用紙を用意し希望者のみに記入してもらった。投票証明に裏面には「誰に投票したか誰にも言わないで！」の注意書き。会場入口に、候補者インタビューのQRおよび書き起こした「こども選挙新聞」を置いた。

□投票用紙



□メッセージ用紙



□投票証明書



□こども選挙新聞



□QRコード



□のぼり



□風船



□チラシ



□投票箱



□記入台

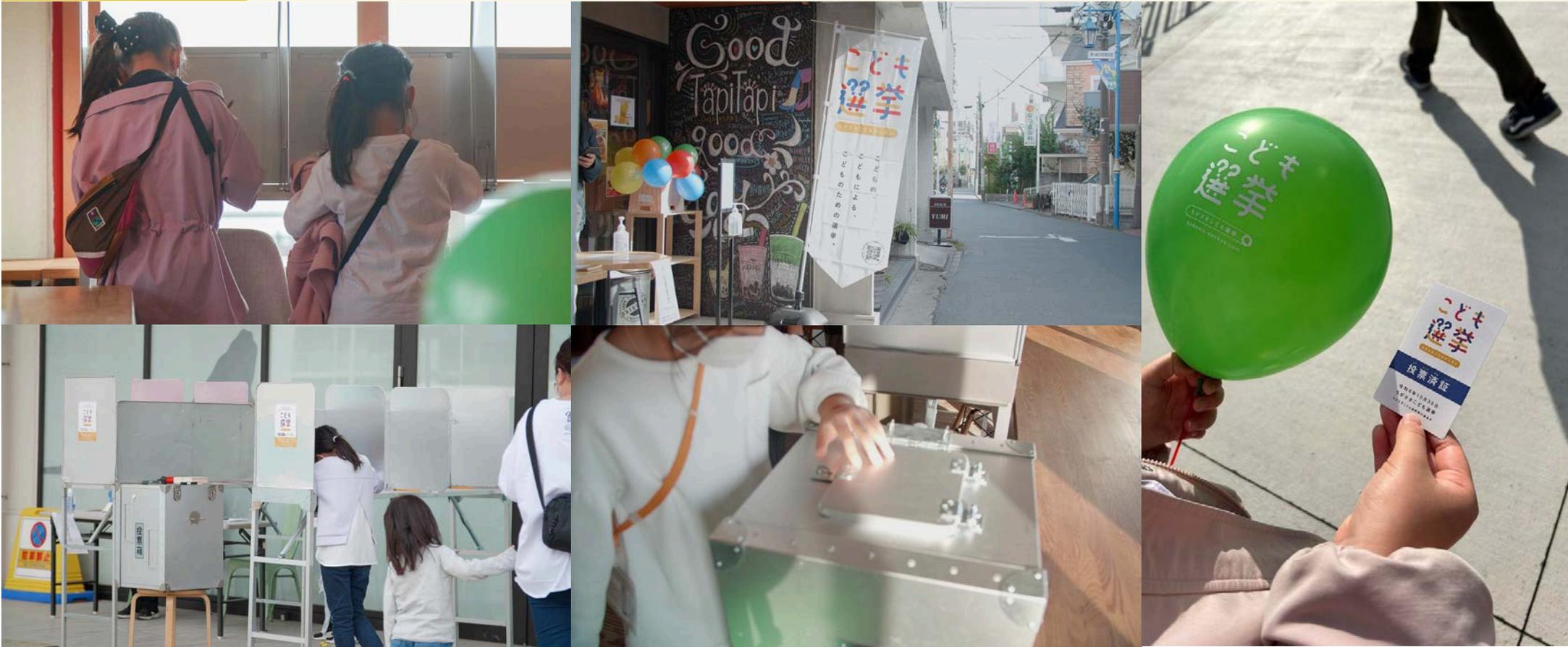


●茅ヶ崎市選挙管理委員会が実際の投票箱と記入台を貸し出してくれた。

10.30

投票日／投票所での投票

投票所では10:00～15:00の投票。投票の受付や案内は子どもたちががんばってくれて、実行委員会と58名のボランティアによる運営により、大きなトラブルもなく無事に終了した。



10.30

投票日／ネット投票

投票日7:00～20:00にネット投票も合わせて実施。本人認証はあくまで自己申告だが、茅ヶ崎在住、小学生～17歳であること、1回しか投票しないことを承認の上投票してもらった。また、2重投票を防ぐために、氏名・生年月日の入力によるフィルター、Cookieの記録、同一IPアドレスによる連続投票10分間禁止など対策を講じた。

●トップ

こども選挙
ちがさきこども選挙
ネット投票

投票日時
2022年10月30日
7:00～20:00

ちがさきこども選挙（模擬選挙）のネット投票ページです。以下の注意事項に同意の上、投票画面に進んでください。

投票前に候補者へのインタビューを動画で見ることができます

候補者インタビューを見る

投票する

投票は1人1回のみ行うことができます。投票所に行って投票した人（する予定の人）はネット投票はできません。

投票画面に進む

※ネット投票は1回しか投票できませんのでご注意ください。

× ネット投票をやめる

© 2022 ちがさきこども選挙. All Rights Reserved.

●候補者インタビュー

こども選挙
ちがさきこども選挙
ネット投票画面

候補者インタビュー

この動画はこどもたちが模擬投票をする際の参考情報となることを目的としています。茅ヶ崎市長選挙の候補者に、こども選挙委員会がこども独自の視点でインタビューをしました。

藤村 ゆかりさん
（12才）

佐藤 光さん
（12才）

桂 秀光さん
（12才）

●注意事項の承認

こども選挙
ちがさきこども選挙
ネット投票画面

注意事項の確認

ちがさきこども選挙（模擬選挙）のネット投票をするにあたり、以下の注意事項を読んでチェックを入れて、その内容を絶対に守ってください。

注意事項にチェックを入れてください

- 私は現在茅ヶ崎市に住んでいます
- 私は小学1年生～17歳のいずれかにあります
- 私はちがさきこども選挙の投票所で投票していません
- 私は誰に投票したか本当の選挙が終わるまで誰にも言いません
- 私は特定の候補者に投票することを置にも呼びかけません
- 私は1回しか投票しません

※注意事項の内容がわからない場合には、必ず大人の人に相談してから投票してください。

※投票時に入力された個人情報は、二重投票防止のために利用し、投票結果集計後にすべて破棄されます。

あなたのお名前（ひらがな）と生年月日を入力してください。

▼お名前をひらがなで入力してください

ですとらう

※スペースなし（例：ちがさきたらう）

▼生年月日を入力してください

2014年 05月 14日

※同一人物による二重投票は無効票と

●投票とメッセージ記入

こども選挙
ちがさきこども選挙
ネット投票画面

投票する候補者を選ぶ

＜投票方法＞
①投票する候補者をひとり選択してください
②選んだ候補者に届けたいメッセージを入力してください
③「投票内容を確認する」ボタンを押すと投票内容の確認画面が表示されるので、内容に間違いがなければ「投票する」ボタンを押してください。

投票する候補者を選択してください。

並び順：届出順

候補者を選択

選んだ候補者に届けたいメッセージがあれば入力してください。（500文字以内）

期待することや伝えたいことを自由に書いてください。ここに入力されたメッセージは、投票結果とともに本人に届きます。

メッセージを入力する（任意）

この画面はテストです。ここにメッセージを入力します。

●内容の確認

こども選挙
ちがさきこども選挙
ネット投票画面

投票内容をご確認ください

お名前（ひらがな）
ですとらう

生年月日
2014-05-14

投票する候補者
[候補者名]

メッセージ
この画面はテストです。ここにメッセージを入力します。

投票する 戻る

× ネット投票をやめる

© 2022 ちがさきこども選挙. All Rights Reserved.

●終了と公職選挙法のアナウンス

こども選挙
ちがさきこども選挙
ネット投票画面

投票完了しました

ちがさきこども選挙ネット投票が完了しました。投票結果は、11月1日以降にちがさきこども選挙ホームページで発表します。SNSでもお知らせしますので、ぜひフォローをしてください。

Instagramでフォローする
Facebookでフォローする

！投票は、ネットまたは投票所のどちらか1回だけ！

！誰かに投票したかば、本当の選挙が終わるまで誰にも言わないで！

※投票の重複や複数回の投票は違法行為です。投票の重複や複数回の投票は選挙が無効とみなされ、罰則の対象となります。

© 2022 ちがさきこども選挙. All Rights Reserved.

10.30

投票日／集計

集計は「こども選挙委員」が担当。本当の選挙の開票方法を参考に、厳格に行った。開票者2人と記録者1人の3人1チームで、各投票箱を担当した。

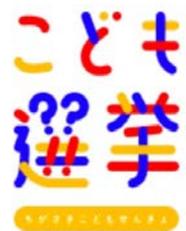


11.2

開票結果の公表

結果はホームページで公表。投票所で投票してくれた子ども399人、ネット投票167人、合計566人もの子どもたちが投票してくれた。

また、メッセージ総数は359。一人ひとりが真剣に考えた痕跡がしっかりと見られた。



令和4年10月30日 執行 茅ヶ崎市長選挙
ちがさきこども選挙 開票結果
(令和4年11月1日 12:00 発表)

投票数 合計 **566**
(投票所+ネット投票)

候補者へのメッセージ総数 **359**

開票結果

候補者名	藤村 ゆかり (ふじむら ゆかり)	佐藤 光 (さとう ひかる)	桂 秀光 (かつら ひでみつ)
投票所得票数	186	179	31
ネット投票得票数	60	85	22
得票数 合計	246	264	53

投票所 無効投票：0 投票所 白紙投票：3

ネット投票 無効投票：0 ネット投票 白紙投票：0 開票未済：0

11.5~

メッセージのお届け

集まったメッセージ399個の子どもの声を、直接手渡し、または郵送ですべての候補者に順次届けた。メッセージには、候補者に期待することや選んだ理由など、一人ひとりのこどもが真剣に考えて投票してくれた痕跡を確認できた。

●候補者ごとにメッセージをファイリングしてお届け



●藤村ゆかりさんには、こども選挙委員から直接手渡し出来た。





メディア掲載

メディア掲載一覧

- タウンニュース：今秋「こども選挙」実施へ

<https://www.townnews.co.jp/0603/2022/08/05/636683.html>

- タウンニュース：「茅ヶ崎の未来」考える日に

<https://www.townnews.co.jp/0603/2022/10/21/647423.html>

- 朝日新聞：「市長になって何をがんばる？」 子どもが候補に聞きたい三つの質問

<https://www.asahi.com/articles/ASQBL6HTNQBCULOB005.html>

- FMヨコハマ こども選挙告知レポート

- 朝日新聞：茅ヶ崎市長選 こども選挙は接戦

- 読売新聞（全面）： 未来築く キッズの1票

<https://www.yomiuri.co.jp/s/ims/childselection/>

- NHK 9日18:40～首都圏ネットワーク

https://plus.nhk.jp/watch/st/q1_2022110913371

- NHK政治マガジン：子どもが市長を選んだら!?

初めての「選挙」で学んだこと

<https://www.nhk.or.jp/politics/articles/feature/91995.html>

- タウンニュース：こども選挙 566人が投票

<https://www.townnews.co.jp/0603/2022/11/18/651713.html>

- NHKジャーナル：茅ヶ崎市で“こども選挙”本物の候補に投票も

●タウンニュース

今秋「こども選挙」実施へ

市長選で候補者に投票

【社会】

「今秋行われる茅ヶ崎市長選に合わせて、子どもたち自身がまちの課題を勉強し、実際の候補者に投票する『こども選挙』を実施しよう」というプロジェクトが進んでいる。市民有志による実行委員会が企画しているもので、関係者は「子どもたちが政治やまちの未来について主体的に考えるきっかけになれば」と話す。



こども選挙のロゴを手にする池田さん夫妻

中心となっているのは、サザンビーチ海水浴場そばでワーキングスペース「Cの辺り」を運営する池田一彦さん（45） 羊砂子さん（44）夫妻

「茅ヶ崎の未来」考える日に

市長選当日に「こども選挙」も

10月30日に投票開票が行われる茅ヶ崎市長選挙。市内11ヶ所に設置される同日、小学生から17歳の「こども選挙投票所」に子どもたちを対象とした「こども選挙」も実施される。横の投票体験がある。

自治体の選挙と同時に行われる市長選当日に、市内11ヶ所に設置される「こども選挙投票所」に、対象とした年齢の子どもたちを対象とした「こども選挙」も実施される。横の投票体験がある。

子どもたちが考えた候補予定者への質問

- 1: 市長になったら何をがんばりたいですか？その目的は何ですか？
- 2: 子どもと大人の意見をどのように取り入れますか？また、どのようにして実行しますか？
- 3: 基幹施設など、マシソンを推進することについてどう思いますか？また、マシソンを育てるメリットがあると思いますか？

話し合う「こども選挙委員」のメンバー提供

「こども選挙」の開催も、市長選当日に同時に行われる。市内11ヶ所に設置される「こども選挙投票所」に、対象とした年齢の子どもたちを対象とした「こども選挙」も実施される。横の投票体験がある。

11ヶ所に投票所 ネットでも受付

「こども選挙」の開催も、市長選当日に同時に行われる。市内11ヶ所に設置される「こども選挙投票所」に、対象とした年齢の子どもたちを対象とした「こども選挙」も実施される。横の投票体験がある。

「こども選挙」566人が投票

市長選と同時に開催

10月30日（日）の市長選挙と同時に、市内11ヶ所に設置された「こども選挙投票所」で、小学生から17歳の子どもたちが、市長選挙の候補者について考えた質問を投げかけ、投票した。投票した子どもは566人だった。

愛車の売却お任せを

「こども選挙」の開催も、市長選当日に同時に行われる。市内11ヶ所に設置される「こども選挙投票所」に、対象とした年齢の子どもたちを対象とした「こども選挙」も実施される。横の投票体験がある。

ポイント5倍 4日間限定

11/24・25・26・27

お客さま感謝祭!

JRE POINT 100円 = 5ポイント!

JRE CARDポイント加盟店 100円 = 7ポイント!

期間：11月24日（木）～27日（日）

対象店舗：茅ヶ崎駅前、小田原3店同時開催

新型コロナウイルスワクチン接種に関するお知らせ

年末年始の感染拡大に備えて、年内のワクチン接種をご検討ください

- ・オミクロン株対応2価ワクチンによる追加接種（3回目、4回目、5回目）をご希望される方は、年内の接種をご検討ください。
- ・初回接種（1回目、2回目）をご希望される方も、年内の接種完了をご検討ください。

※追加接種は、初回接種が完了した13歳以上の方対象で、初回の接種日から3カ月以上経過している方が対象です。

個別医療機関において予約受付中

初回接種、追加接種を実施しています。予約受付状況は各医療機関で異なります。詳細は、市ホームページ、コールセンター、直接、医療機関でご確認ください。

※接種するワクチンの種類は、薬剤にご確認ください。

市集団接種の年内スケジュール（予定）

日	月	火	水	木	金	土
4	満	5	6	7	満	8
9	満	10	11	満	12	13
14	空	15	空	16	空	17
18	空	19	20	21	空	22
23	空	24	25	26	27	28
29	30	31				

初回接種（1回目、2回目）スケジュール

日程	1回目	2回目	使用ワクチン
11月27日	空	空	従来型
12月18日		空	ファイザー社製

※2回目接種は、初回接種が完了した13歳以上の方対象で、初回の接種日から3カ月以上経過している方が対象です。

※使用するワクチンは、オミクロン株対応2価ワクチン（BA.4・5）（ファイザー社製）になります。 ※11月は接種時点で予約が満員のためお断りさせていただきます。 ※接種、予約受付を開始します。 ※予約状況により、ご希望する日時の予約が埋まっている場合があります。

茅ヶ崎市 新型コロナウイルスワクチンコールセンター 受付時間 9時から18時（日祝を除く） 最新情報は市ホームページをご確認ください

TEL: 0120-159-267

茅ヶ崎市長選

17歳までの566人模擬投票

こども選挙は接戦

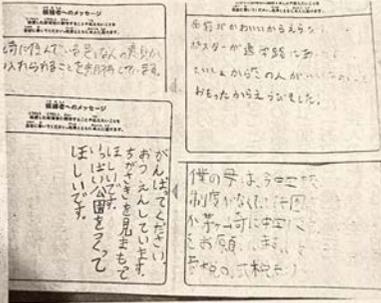
10月30日の茅ヶ崎市長選にあわせ、小学生から17歳までの子どもたちが模擬投票をした「こども選挙」の結果が31日、発表された。子どもたちは投票の際に候補者へのメッセージも添えた。子どもたちの開票結果は「こども選挙」を通じて、主権者教育や子どもの意見表明を推進しよう



「こども選挙」の開票結果を思をのんで見せる子どもたち10月31日、茅ヶ崎市

と地元有志が企画した初の試み。公募に応じた子どもたちの選挙委員会が市内11カ所の店先などに専用の「投票所」を設置して投票を呼びかけ、ネットでも受け付けた。

566人が投票し、集計の結果、現職の佐藤光さん



こども選挙では、投票用紙に候補者へのメッセージを書いてもらった。実行委では3人の候補者に届けることにしている

(53)が264票、前市議の藤村優佳理さん(52)が246票、大学の学位審査委員の桂秀光さん(66)が53票だった(白票3票)。

実際の選挙では佐藤さんが藤村さんの2倍近い票を集めて再選されたが、こども選挙の結果は「接戦」だった。

こども選挙では投票用紙に候補者の名前だけでなく、メッセージを書く欄が設けられた。「母は中学校の給食がなくてとても困っています。検討してください」「学校がパンクするまじを作らないでください」といった要望のほか、「朝早くから駅であいさすするのは大変です」「(結果は)だめでもがんばったと思います」などの言葉も。実行委は、子どもたちが直筆の投票用紙を候補者3人に届けるという、2カ月以上にかつたこども選挙委員会の取り組みはホームページでも紹介している。(足立朋子)

こどもだって選挙したい!

子どもと大人の見解をどのようにして取り入れますか? またどのようにして実行しますか? 其月待たしてまゝなので、よろしくお願ひはせ。

茅ヶ崎市長選の候補予定者に質問や模擬投票

子どもが市長を選ぶとしたら、どんな視点で選ぶのだろう。23日告示の茅ヶ崎市長選にあわせ、小学生から17歳までが候補者にインタビューをして、模擬投票をする「こども選挙」の企画が進んでいる。子どもたちは「子ども選挙をやりたいなんてすごい」と目を輝かせている。(足立朋子)

10月初めの日曜日、茅ヶ崎海岸に臨む会議室は熱気に満ちていた。テーマは、市長選の立候補予定者に行方インタビューの質問だ。子どもたちがわかるように、大人スタッフが投げかけを受けて、公募に応じたこども選挙委員会(以下「こども選挙委員会」)の11人が、三つの

議論の末、班の代表に決まった質問



候補者に聞いてみたいことを話し合う子どもたち

班に分かれて話し合った。2時間以上の日替した議論の末、3問に絞り込んだ。「市長になった何をがんばりたいですか?」「子どもと大人の見解をどのようにして取り入れますか?」「茅ヶ崎にマンションを増やすことをどう思いますか?」

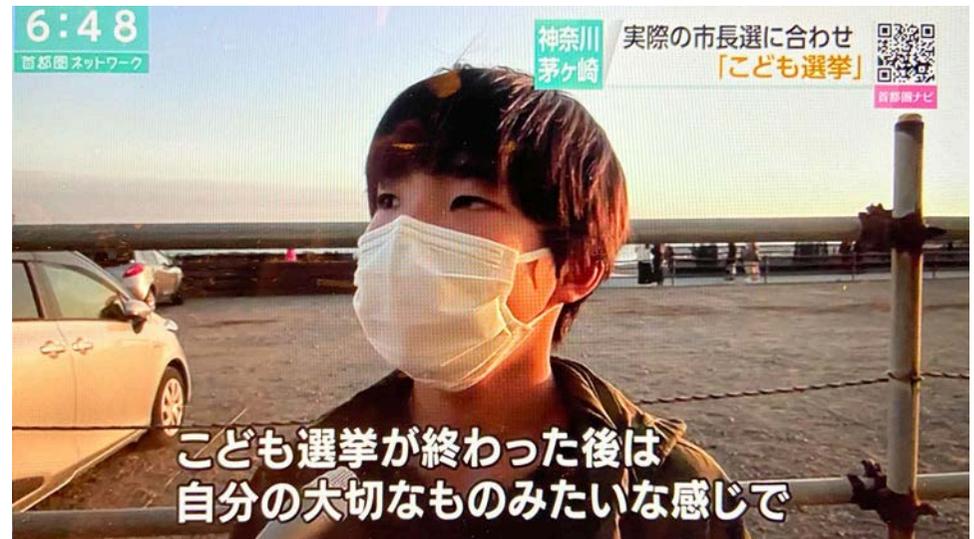
こども選挙は、広密会社を独立したプランナーで、本棚オーナー制図書館兼共同オフィスを運営する池田一彦さん(45)と、妻で教育問題などを取材してきたライター的美砂子さん(44)が、知人らと議論する中で生まれた。

日本の若者の低い投票率に話及んだ際、2児の親でもある池田さん夫妻は、アメリカの学校で盛んな大統領選に合わせた模擬選挙のことが頭に浮かんだ。

折しも、10月には地元の市長選がある。子どもたちが実際の候補者に投票する模擬選挙をやってみようと呼びかけたところ、青年会議所やNPOのメンバーらが続々と応じ、10人ほどの実行委員会が結成された。

「6月に『こども基本法』が成立し、子どもの意見を表す

●NHK（密着ドキュメント7分間）



●NHK政治マガジン

子どもが市長を選んだら!?
初めての「選挙」で学んだこと



本物の選挙のように

10月30日に投票が行われた茅ヶ崎市の市長選挙で、市内に「こども選挙」の投票所も設けられました。

市の選挙管理委員会の協力で、本物の投票箱を使います。

投票所の運営も子どもたちが担当しました。投票用紙を渡して、書き方などを説明しました。



●NHKジャーナル



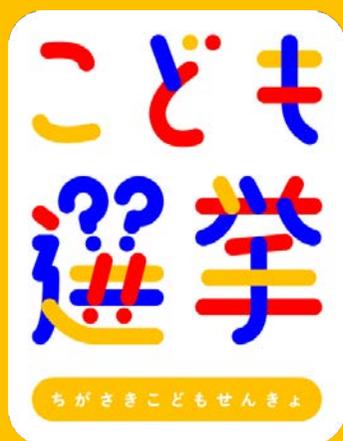
放送局



放送時間 2022年11月21日（月）22:00～22:55

番組名 NHKジャーナル

▽茅ヶ崎市で“こども選挙”本物の候補に投票も



市民と社会の声

実施後アンケート / 投票した子ども本人

いつも選挙で投票してみたいな、と思っていたので、できてよかったです。

大人になって選挙権を得たら、絶対投票しに行きます。

大人の社会を知れて良かった。(小5)

また子ども選挙をやりたいです。(小3)

市長に頼んだ言葉はしっかり届いていると良いなともいま

す。**またこの市長選挙（子供）をやりたいです。**楽しかったです！

貴重な投票する体験ができて嬉しかったのと**選挙ってこんなに楽しい**

んだ?ということを実感しました。

大人が選挙をやっていて、「いいな〜」と思っていたけど自分も

投票出来て良かったです!あと、やってみて楽しかったです。またやりたいです。

僕はネットから投票しましたが、**選挙は日本、地域の未来を変え**

る大事なものなんだなと言うことを改めて感じました。僕

が投票したのは藤村ゆかりさんで、結果は現市長の佐藤光さんでしたが本物の選挙ではどれになるか分かりません。その選ばれた方には、とても頑張って頂きたいと思います。

機会があればぜひまた行って欲しいです！

いつも、大人が、やっていて**わたしもやってみたいな〜**と思って

いたらお母さんが「こども選挙」という企画を見つけられました！やって

みると少し緊張したけど**やったことのない経験で楽しかったです♪**来年も、楽しみにしています。

実施後アンケート / 投票した子どもの保護者

"まず、子ども選挙の企画を考えて、投票所&ネット投票という形で実行して下さったことに感謝しています。

大人でも候補者の考えなどから誰に投票するか迷いますが、**候補者の動画もあったので、子ども達はそれぞれ真剣に考えて投票していました。**大変貴重な経験になったと思います。

ネット投票も、大人の選挙ではまだですが、子ども選挙が発端となって、国として取り組みが進むことを期待します。

もし可能ならば、ぜひ、次回もお願いします！

すごく興味を引く取り組みで、町の至る所で話題になっていました。本当はボランティアなど取り組みに何か参与したいと思っていましたが、忙しい日常に足踏みしてしまい、結局傍観しているだけになってしまいました。政治や選挙への関心も同様なのかもしれませんね。

何か義務感から行かなくてはいけないというものではなく、もっと根本から

自分の街や将来を考えるきっかけとして選挙を捉える機会を与えたのではないかと思います。皆さま、どうもありがとうございました。大変お疲れ様でした。

目からウロコの様な素晴らしいプロジェクトを立ち上げてくださりありがとうございました。子ども選挙を通して見る大人の社会はとても子どもに自慢できるものではありませんでした。

質問に答える候補者の動画は全市民が見るべきで、見たら結果も投票率も変わった事でしょう。

今回中学生や高校生の意識を高めたいと中2長女の学年の保護者にインタビュー動画を30人くらいに事前にシェアしましたが、前向きな反応は思ったよりずーっと少なく、**大人の意識の低さに驚きました。親がこの程度**

なら子どもに伝わるのは難しい。中2長女は部活があった為朝ネット投票、帰りに部活の友達3人をマッシューに連れて行き投票の案内をしましたが、インタビュー動画が見られなくて、友達と名前が一緒だから。などのそれぞれテキトーな投票の仕方でした。残念だと言っていました。

携帯が無いと見られないのは改善できるのでしょうか？いろいろ縛りがありそうだなと思いますが。。

小3の次女はいつも選挙に連れて行っているのですが、**大人と同じ投票所の様式に責任感を持って投票している姿が印象的**でした。

子ども相手だからといって手を抜かない、逆に子どもの事だからこそ！という、関係者の皆さんの思いは私も子どもしっかり受け取りました。ありがとうございました。是非次回選挙の時も実施される事を願っております。

実施後アンケート / 投票した子どもの保護者

こども選挙にネット投票した子供の保護者です。子供が候補者のメッセージ動画を見て、候補者の選挙広報を読んで、真剣に考えて選びました。自分の住む茅ヶ崎がどんな市になって欲しいか考える機会になったようです。子供のうちから選挙、政治について考えるのは大切な事だと思います。今後も引き続き、このような取り組みに参加できると嬉しいです。ありがとうございました。

我が家は選挙投票は、毎回家族全員で投票場へ行ってます。

息子は毎回（投票所の）外で待機だったのですが、今回は自分も投票できると嬉しそうでした。

家族で候補者のYouTubeをみたり、公約について話をしたり、子供の頃から市政に興味を持っていい勉強になったと思います。

ぜひ、次回も開催して欲しいと思います。"

実際の市長選挙の投票率の低さから見て、この先の益々の民度低下を防ぐ意味でも、この子供選挙の活動は大切だなと思いましたので、ぜひ今後も続けて行ってほしいです。

ただ、ネット投票は誰でも（対象年齢外）投票できてしまうのでは？という疑問もあります。候補者へのメッセージも候補者だけでなく、一般への公開もしてほしいと思います。どうしてその候補へ投票したのかというのが読み取れるのではないのでしょうか？投票すればいいわけではなく、なぜその候補者に投票したのかが、大事になってくると思います。

今回のこども選挙はとても大きな意味のあるものだったと思います。

投票だけでなく、ひとりひとりの意見や願いを届けられるとゆうのもすごく素敵です。

ぜひ、茅ヶ崎市内の小学校や中学校での授業の一環として""こども選挙""を取り上げほしいです。

実施後アンケート / 投票した子どもの保護者

今回、子供選挙委員に参加させていただいて、感謝しかありません。本当にありがとうございました。

今後の長い人生の中でも印象的な経験となったと思います。

年齢や学校が違う子供たちと話し合ったこと、市議会議員の方々に意見を言えたこと、身近な政治に触れ、実際に選挙の運営をお手伝いできたこと。全てが素晴らしい経験でした。

こういった経験を通して、**改めて親子で1票の重さを実感したと同時に、世の中のまだまだ選挙や政治に対する無関心さを痛感**しました。

今回のような経験を全ての小学生や中学生が学び、模擬選挙のような形で経験出来れば、きっと世の中は変わるだろうなということも感じました。

私は今回、インタビュー動画を見たり、身近な政治と触れ合うことで子供から改めて選挙について大切な1票だと感じる事が出来ました。子供が選挙に関心を持ち、学ぶことで、**逆に子供から学んで親も選挙に行くようになるんじゃないか！** そうしたら自然と投票率も上がるのではないかな、と感じさせられました。この活動がどこかで広がればいいなと願っています。本当に貴重な経験をありがとうございました。"

日頃より我が家では、民主主義や政況について語り合っていますが、今回このような場を設けていただいた事で、**子供達が自分ごととして実際に選挙に参加**できましたので、とても感謝しています。

子供視点の質問や、実際に自分の声を届けられるメッセージカードは非常に良いと思いました。強いて言えば、3つの質問だけではなく、各候補者の選挙公約を子どもにわかりやすくまとめた文または動画もあつたら尚よかったと思います。質問に対する各候補者の答えは子供的にはさほど差異がなかったようでした。私個人としては、前市長の元では子どもに対する予算をあまり重視されていないようでしたので、そこをつっこんでいただきたかったです笑
今後も継続していただけることを期待しています。
ありがとうございました。

投票に向け、立候補者の政策に興味を持ち、調べている様子を見て嬉しく感じました。 子どもの段階から政治・選挙に興味を持つ機会があったことは、大変有意義だと感じました。ありがとうございました。

SNSでの反応



茅ヶ崎市長選挙の**こども選挙** 児童に選挙権がない現状で意見を表明できる数少ない機会だと思う 他の選挙でも広がるといいな

🐦 マシモト=美水 @jidoubunko



小学生から17歳までが、市長選候補者にインタビューする「**こども選挙**」。民間主導で良い試みだと思いますが、地域によっては「中立性ガー」とか騒がしくなってしまうようで心配です。「市長になって何をがんばる？」子どもが候補に聞きたい三つの質問：朝日新聞デジタル asahi.com/articles/ASQBL...



良い取り組みだと思う。子供たちも投票した人が当選すれば嬉しいだろうし。**#未来はこの手で変えられる #茅ヶ崎市長選 #投票に行こう #govote** 【タウンニュース茅ヶ崎版】今秋「**こども選挙**」実施へ 市長選で候補者に投票 townnews.co.jp/0603/2022/08/0...



これ良いな〜🌟全国の市区町村に広がってほしい。こども時代からの主権者教育こそ、この国に必要な改革だと思う。**#こども選挙 #茅ヶ崎市長選挙** pic.twitter.com/tgqGILN3IX



茅ヶ崎市ではじまった「**ちがさきこども選挙**」。子どもたちがまちについて学び、市議会を傍聴したのち、候補者にインタビュー。公開された動画を見ると、大人にとっても候補者のことがよくわかる。当日は子どもたちも模擬選挙。すごくいい取り組み。 kodomosenkyo.com



昨夜のミーティングで教えてもらった茅ヶ崎の**こども選挙**の取り組みが素晴らしくて、先般の新潟の市長選でもぜひやってほしかった。子どもが選ぶ市長になってほしい人が実際の結果と違ったりしてね。日本はまず主権者教育なんだろうな **#こども選挙 kodomosenkyo.com**



こども選挙面白そうな企画ですね。自分とこの自治体でもやってほしいー。愛莉さん今週もレポートお疲れ様でした！ **#キスライ**

🐦 ねこの @necorins



【10/30(日) こどもが投票する「**ちがさきこども選挙**」】法律では18才未満の「こども」は選挙に関わることはNG。でも「関わらないように」と言われていた事に18才の誕生日が来たとたん興味を持つのは難しい。それを解決するのが「**ちがさきこども選挙**」です。 kodomosenkyo.com/?fbclid=IwAR2j...



茅ヶ崎で行われている「**こども選挙**」が素敵です。投票もせずに政治に文句を言う大人にはなってほしくない。未来は自分たちでつくるもの。 kodomosenkyo.com



ほんとの市長選当日に、こどもたちによる擬似投票を行う前代未聞のプロジェクト。**こども選挙**。いよいよ明日。



タウンニュース茅ヶ崎編集室 @tn_chigasaki

10月23日(日) 17:55

〈10月21日号茅ヶ崎版より〉「茅ヶ崎の未来」考える日に 市長選当日にこども選挙 townnews.co.jp/0603/2022/10/2...



こんな素敵な取組みが...!!👏!!子供たちからの質問3つに市長候補者3名がそれぞれ答えている動画が、とても参考になります。20分かからず全部見れるので、大人もぜひ〇〇〇〇広報よりもリアルに伝わってきます。委員会の皆様、本当に有難うございます🙏🌟 **#茅ヶ崎 #こども選挙 kodomosenkyo.com pic.twitter.com/qlyHnbtUZI**



こども選挙で投票！茅ヶ崎市長選挙での、小学1年から17歳までを対象とした模擬選挙。実際の候補者を対象としています!? **すごい！若年層投票率向上はここからですね。**ローカルマニフェスト勉強会での茅ヶ崎の岡崎市議からの報告 **#ローカルマニフェスト #子ども選挙 #鎌倉市議会 #久坂くにえ** pic.twitter.com/vsKSSvySeq



kodomosenkyo.com #10月30日 #茅ヶ崎市長選 #茅ヶ崎市長選挙 #茅ヶ崎市長選 #**こども選挙** **これが一番今回の選挙 わかりやすいかも👏**

SNSでの反応

 **サトウミキ** @s_mitooooomo · 11月6日 ...
11月27日(日) 投開票の大磯町長選挙、どうしようかな。名前とか年齢とかしか情報がない中でどう選べばいいのやら。とりあえず平塚青年会議所主催の公開討論会の動画公開(11月13日)を待つ。それにしても茅ヶ崎の**こども選挙**はとて面白い仕組みだなあ。さすが茅ヶ崎。

 **miho | エシカルデザイナー** @miho_ethical · 11月9日 ...
「**#こども選挙**」がとってもすてき。茅ヶ崎市の市長選に合わせて実施されたそう。みんなで質問を考えてビデオを送り、候補者から回答を得て、投票も当日に。こういう取り組み、広がるといいなあ🌟

 今日、議員勉強会で教えていただいた、茅ヶ崎の取り組み「**こども選挙**」!!昨日の市長選の候補者に実際に子どもたちが投票してみるもの👉投票所も設置されて、オンライン投票も可能とか👉え〜本当これやりたい〜💖👉こどもバージョンの投票結果を見るのも楽しみ👉最高の主権者教育🌟 pic.twitter.com/ODnyVQoN9S

 本物と同じ台と投票箱🗳️投票箇所は11箇所📍これほどの準備は大変だったはず...皆さまの想いが伝わってきます🙏**#こども選挙** #茅ヶ崎 pic.twitter.com/xas5fC2LLq

 **#こどもの、#こどもによる、#こどものための選挙** kodomosenkyo.com 「#茅ヶ崎の未来」考える日に市長選当日に **#こども選挙** townnews.co.jp/0603/2022/10/2... 素晴らしい、こころみです! 各地でおこなって欲しい! みらい、一番影響するのは、子どもたちだから!!!

 **love-doraken** 🎵 @love_doraken · 11月10日 ...
茅ヶ崎で行われた「**こども選挙**」。実際の候補者に投票する。子供達は選挙ルールを守って、候補者の話を聞き、質疑の上で投票。その過程で**地域、民主主義、選挙の仕組み**を体験を通して学ぶから身になる。「どうぶつせんきょ」の絵本の読み聞かせによるワークショップもユニーク。

 **さわやかハッカー@暗森さん推し** @sawayaka_hacker · 11月9日 ...
子どもたちですらこれだけ真剣に政治に関心持っているというのに、投票すら行かない有権者って...

#こども選挙

 **長嶺李砂 (ながみね りさ)** @lisa123daaaa · 11月9日 ...
いま、テレビのニュースで知った「**こども選挙**」ものすごく興味がある取り組み。

 **ばっふあ** 🌸🎀💎🐰💖 @microcystis · 11月9日 ...
こども選挙よいな!

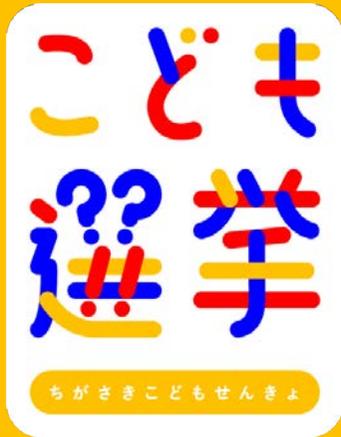
 **イシツカズト@ローカルを推すひと** @wazin · 10月29日 ...
【10/30(日) こどもが投票する「**ちがさきこども選挙**」】
法律では18才未満の「こども」は選挙に関わることはNG。でも「関わらないように」と言われていた事に18才の誕生日が来たとなん興味を持つのは難しい。
それを解決するのが「**ちがさきこども選挙**」です。

 **荒井ケイゴ/小さな声を扱う** @jingkeigo · 21時間 ...
最高だな〜〜。たぶん、このプロセスがもっと最高!!!
わたしもぼくも、1票!「**こども選挙**」:読売新聞

 **miho | エシカルデザイナー** @miho_ethical · 11月9日 ...
「**#こども選挙**」がとってもすてき。茅ヶ崎市の市長選に合わせて実施されたそう。みんなで質問を考えてビデオを送り、候補者から回答を得て、投票も当日に。こういう取り組み、広がるといいなあ🌟

 **石角友香** @ishizumi_yuka · 11月9日 ...
茅ヶ崎の**こども選挙**の試み、すごくいいんだけど、肝心の大人の投票率は40%行かないとか、なんだかね。

 **ゆーき** @yukihatakeyama · 11月9日 ...
茅ヶ崎で実施したという**こども選挙**のニュースをやっていて最初は選挙公約とかわからなそうから見た目での投票にならんかと心配したのだが、ちゃんと候補者に自分たちの言葉でインタビューとかしててそれに基づいて投票してて大人の選挙よりちゃんとしてるじゃんって驚いてる



リスクマネジメント

こども選挙 リスクの分解と対応

こども選挙では、専門家の監修の元、あらゆるリスクを想定して慎重に運営してきました。漠然としたリスク感では何も解決できないという認識に立ち、具体的にどのようなリスクがあるのかを分解し、それぞれの対応方針を決めて運営しましたので、ご報告します。

①公職選挙法抵触のリスクと対応

こどもの選挙運動の禁止

公職選挙法では、未成年の選挙運動を禁止しています。選挙運動とは、特定の候補者や団体を当選目的で応援する活動です。

●対応①：こどもと保護者へのアナウンス

特定の候補者を応援することが禁止されていることを、こども選挙委員の保護者およびこども本人に、計4回にわたり注意喚起。

●対応②：投票オペレーションでの徹底

「誰に投票したかは誰にも言わないで！」というアナウンスを、投票所運営の中で徹底。また、投票証明での記載、ネット投票での記載で注意喚起。



人気投票の事前公表の禁止

公職選挙法では、実際の選挙に影響を与えるという観点から、人気投票を事前に公表することを禁止しています。

●対応：実際の選挙終了後での公表

こども選挙の開票結果の公表を、実際の選挙醜虜後に行いました。具体的には11月2日12:00にホームページとSNSを通じて発表しました。

こども選挙 リスクの分解と対応

②公平性に関するリスクと対応

候補者インタビューの公平性

特定の候補者の情報に偏りが出ないように、細心の注意を払いながら、インタビューおよびWEBへのアップを行いました。

●対応①：インタビュー条件の公平性担保

候補者へのインタビュー条件を揃えました。事前に3つの質問をテキストで伝えること、当日動画で質問を見てもうこと、回答に2分以内の制限を設けること、取り直し回数を1回までと決めておくこと、撮影機材を揃えること（iPhone）など、まったく同じ条件になるよう留意しました。

●対応②：同意書へのサイン

上記内容を、インタビュー前に同意書としてまとめ、全ての候補者にサインして頂きました。

●対応③：届出順の掲載

実際の選挙の届出順にホームページに掲載しました。

政治的中立性の担保

こども選挙では、政治的な偏りが出ないように、ワークショップから選挙運営まで徹底して留意して進めました。

●対応①：講義内容の客観性担保と押し付けの禁止

講義内容への配慮。民主主義の講義では、その歴史などを含めて客観的に説明することに留意。また、市民活動家の話しも、事前に講師に考えの押し付けにならないようにアナウンスし、あくまでこども自身が考えるきっかけを提供することに集中してもらいました。

●対応②：候補者情報の一切の取り扱い禁止

こども選挙では候補者に関する情報に関しては、候補者インタビュー以外は一切扱いませんでした。ワークショップで候補者名を出したのも、10月23日の候補者インタビューを見る会の1回だけであり、インタビュー内容の補足や質問に関しても一切受け付けませんでした。

こども選挙 リスクの分解と対応

③子どもへの危険に関するリスクと対応

こども選挙委員の安全性担保

こども選挙委員は特に、対外的な危険にさらされやすいとの認識をもって、事前に慎重に検討を重ねて運営してきました。

●対応①：本名の使用禁止（ニックネーム）

こども委員会メンバー内においても名前が特定できないように留意。具体的には初回にニックネームを付けてもらい、そのニックネームで呼び合うようにした。また、メディア掲載に際してもニックネームで記載してもらうよう交渉。

●対応②：候補者との直接接触回避

候補者との直接面会を避けた。当初は子どもと一緒にインタビューも検討していたが、質問ビデオの収録に留め、実行委員のみでインタビューを行った。これによって、候補者から特定されるリスクを回避した。

投票者の安全性担保

投票した子どもたちの情報もリスクが高いとの認識を持ち、対応しました。

●対応：本人特定情報の排除

投票所において個人が特定されないよう、氏名は聞かず、年齢と茅ヶ崎在住であることの確認のみに限定した。

また、ネット投票では二重投票を防ぐために、氏名と生年月日の記入によるフィルターを設定したが、集計後すみやかにこのデータを破棄した。

こども選挙 リスクの分解と対応

①公職選挙法抵触のリスクと対応

●こどもの選挙運動の禁止

対応①：こどもと保護者へのアナウンス

対応②：投票オペレーションでの徹底

●人気投票の事前公表の禁止

対応：実際の選挙終了後での公表

②公平性に関するリスクと対応

●候補者インタビューの公平性

対応①：インタビュー条件の公平性担保

対応②：同意書へのサイン

対応③：届出順の掲載

●政治的中立性の担保

対応①：講義内容の客観性担保と押し付けの禁止

対応②：候補者情報の一切の取り扱い禁止

③子どもへの危険に関するリスクと対応

●こども選挙委員の安全性担保

対応①：本名の使用禁止（ニックネーム）

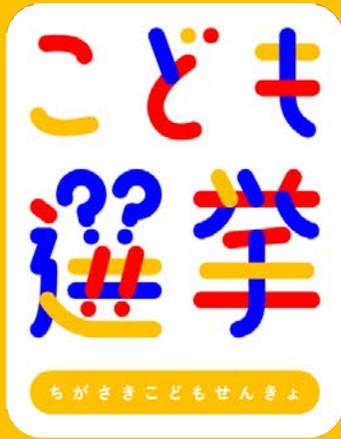
対応②：候補者との直接接触回避

●投票者の安全性担保

対応：本人特定情報の排除

上記のリスク管理を持って、

こども選挙実施後も特に問題は起きておりません。



成果と課題

こども選挙の成果

1

参加したこどもたちの確実な主権者意識の芽生え

投票してくれた566人は、選挙をすることを楽しいと言ってくれ、大人になったら絶対に投票するとの声を多数聞いています。今回の取り組みによって主権者としての意識を確実に醸成できたと考えられます。

2

こどもが茅ヶ崎のことを考えるきっかけに

メッセージ用紙には、自分の住む街のことを真剣に考えた痕跡を確かに感じ取れました。普段何気なく暮らしている茅ヶ崎のことを考えるきっかけになっと考えられます。

3

こどもの意見の表明と市政への参加機会の提供

こどもの声が市政に届く仕組みはあまりありませんでしたが、今回の取り組みにより359人のメッセージが候補者に届けられました。

4

活動への賛同と自分の街でもやってみたいの声

直接の連絡やSNSでの発言で、取り組みの大きな賛同と、自分の街でやってほしい／やってみたいとの声を多数確認できました。

5

茅ヶ崎市のブランディング効果

大手新聞社・テレビ局での扱いにより、この取り組みが全国に発信され、「茅ヶ崎すごい」との声も出ています。こどもを大切にする街としての良いブランディングに繋がったと考えられます。

こども選挙の課題

1 実施するための労力とコスト負担

こども選挙を実施するにあたり、10名の実行委員、60名のボランティアに支えられました。
また、WEB制作、投票システム、ポスターなど各種ツールのデザイン・制作も全てボランティアです。
実際にかかったと想定される費用は、制作類で500万円、総人件費で700万円を超えると試算しています。
今後も持続可能にしていくためには、ボランティアベースで本当に可能なのか、検討が必要となります。

2 投票の呼びかけ・告知の限界

こども選挙の投票を呼びかけるために、ボランティアが5000枚のチラシを配ってくれ、メディアでの紹介活動を限界までがんばりました。
結果的に566人の投票が集まりましたが、
子どもにアクセスするのは想像以上に難しく、こども選挙の告知方法も今後検討が必要になります。

3 行政・学校との連携不足

こども選挙を実施するにあたり、選挙管理委員会が本物の投票箱を貸し出してくれるなど協力をいただきました。
ただし、その他の行政部署や学校との連携は不十分で、
その結果として教育現場における模擬選挙の実施や投票の告知が実現できませんでした。
今後は円滑な連携ができるよう方法を検討する必要があります。

最後に、私たちの願い

こどものチカラを大人が信じること

こどものチカラを大人が信じること

「こどもにはあんなことは考えられない」

↓

「どうせ大人が言わせてるんだろう」

↓

「現体制への反対派がやっている

活動かもしれない」

この先入観と偏見に、至るところで苦しめられました。

それは、ボランティアがポスターを貼ってもらうお願いに行った店先で、

協力しようとしてくれた教育関係者が所属団体と交渉する現場で、

こども選挙に関わるべきかを検討したあらゆる中間組織で、

こどもに対する先入観を根底にした偏見が大きなハードルとなりました。

こども基本法

(基本理念)

第三条 こども施策は、次に掲げる事項を基本理念として行われなければならない。

(略)

三 全てのこどもについて、その年齢及び発達に応じて、自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会及び多様な社会的活動に参画する機会が確保されること。

四 全てのこどもについて、その年齢及び発達に応じて、その意見が尊重され、その最善の利益が優先して考慮されること。

(略)

6月15日に国会で成立したこども基本法には、全てのこどもについて、意見を表明する機会、社会活動に参画する機会、その意見が尊重され、利益が優先して考慮されること
が、「こどもの権利」として明記されています。

こどものチカラを大人が信じること

これは、人権の問題です。

こどもを認めるか、認めないかは、もはや自由意思ではなく、
こどもを認めないと思ってしまうことそれ自体が人権を侵害しています。

こどもの権利や主体性は、教育だけでは実現できず、
周囲の大人が認めてあげる環境がないと、成立し得ません。

この活動を通じて、こどもの権利に関する社会的コンセンサスをどう作っていくかが、
最も大きな課題として発見できました。

こどもは意見を表明する権利がある、社会活動に参画する権利がある、
その仕組としてのこども選挙であることを、あらゆる機関と連携しながら検討していければと思います。